

アイムGENKI!

一見は百聞に如かず、一体験は百見に如かず

「大之、宿題ちゃんとしたか?」、「勉強はしっかりしとかんばぞ!」

と私も小さいころには、口うるさく言われておりました。もともと勉強があまり好きな方ではなかった私は当然の如く勉強は得意ではありませんでした。でも、ちゃんと?こうして社会の一員として日々、「幸せ」を実感して人生を謳歌しております。そんな私の礎となっているのは、正に、生きた体験であろうかと思えます。私たちの子どもの頃の放課後は、生きた体験の宝庫でした。毎日放課後になるといつもの空き地には友達がいて、日が暮れるまで思いっきり遊んだものです。今のようにゲーム機もカードゲームもないから、みんなで知恵を出して遊んでました。低学年から高学年が集まってできたコミュニティーだったので、必然的にリーダー（ガキ大将）が生まれ、みんなをまとめていきます。必然的にリーダー養成が行われていたんですね。思い返せば、今の私にある「力」は全ては、放課後での体験によって培われてきたと言っても過言ではございません。その放課後の時間の中にはもちろん、道場での時間も多くありました。あの頃はほぼ毎日道場に通っておりました。（空手週3、英語週2）道場もまた多世代が集まり、空手という、遊びとはちがったものだけど、思いっきり汗を流し身体を動かすことで生きた体験を日々できていました。英語学習も、ただのお勉強ではなく、スピーチや英語劇など、世界を広く学ぶ体験がたくさんありました。道場での空手稽古や英語学習体験などの中で得たものが私自身を形成する糧となっているのは間違いありません。

昨今の異常なまでの学習塾熱。僕らが小さい頃はそれほどでもなかった学習塾熱も今や過剰なまでに加熱しているように感じます。学校のお勉強以上が求められ、学習塾に通わないといけないという強迫観念に似たものも実際にあるようです。学習塾のない欧米諸国から見た日本の学習システムは違和感だらけだそうです。我々が多くを学んでいたあの放課後は今や、どこにもないようで感じます。今の子どもたちには体験すべき機会が本当に少ないのかもしれない。となると、子ども達の発達についても懸念すべきだと考えられます。

「一見は百聞に如かず、一体験は百見に如かず」

と言った人がいました。まさに人を成長させてくれるのは生きた実体験なのであります。

体験することによって、体を動かすことによって、脳が発達し頭の回転が速くなり、記憶力はもとより、集中力、想像力、発想力、判断力といった脳機能も上がってくると言われております。そもそも、人間は生きるために動くものであり、脳は身体を動かすため、生きていくためにあるのだとすると、体を動かすことで脳が発達するのは当然のことだということです。

成長期の子ども達の健全な発達には、体験から得られる様々な「力」を養うことも重要ではないでしょうか?

道場は、今も昔も変わらず、子ども達の発達に重要な体験を与えることができる場所です。道場に通って来てる子ども達は幸いにも多くの体験をしております。

この夏、古賀道場から多くの子ども達が九州大会、全国大会の舞台を踏みました。この体験は何物にも代えがたい生きた実体験となり、既に子ども達に大きな成長を与えております。これは、実際に行ってみなければわからないところで、正に「一見は百聞に如かず、一体験は百見に如かず。」なのです。現に、今回初めて全国大会に出場した保護者の中には、「聞くと、見るとでは大違い、こんな体験をさせてあげられてよかった。本当に行けてよかったです。」と実感される方もいらっしゃいました。

成長期の子ども達にとって、お勉強より大事なものはたくさんあります。古賀道場に通って来てる子ども達には、出来るだけ多くの体験をしてもらいたいと思っております。

第31回全国中学生空手道選手権大会

令和5年8月3日(木)・4日(金)
東京武道館



5月の県予選大会で2位までの選手、団体が出場権を得ることができる大会、全中こと、全国中学生空手道選手権大会が今年は東京武道館にて開催されました。古賀道場からは、個人形で県予選優勝した彩瑛と、団体組手で優勝した附属中学校チームが出場しました。

熱気あふれる会場で白熱した試合が行われる中、先ず登場したのが彩瑛です。腰の痛みをかばいながらもしっかりと自分の形を演武することができましたが、結果は1ラウンド敗退となりました。附属中学校チームの初戦の相手は北海道代表。圧倒的な強さの前に0-3と完敗となりましたが、誠志朗、遥輝にとって最後の全中、しっかりと燃焼出来た試合だったと思います。

第23回全日本少年少女空手道選手権大会

令和5年8月7日(月)～9日(水)
東京武道館

小学生の夢舞台、全少が東京武道館で行われました。

県予選大会の2位までの選手のみが出場できる、強豪選手が集まる大会です。今年は古賀道場から、形2名、組手9名が出場しました。

この大会は、一回勝つのが難しく、これまで多くの選手が古賀道場からも出場しましたが、1度も勝てずに悔しい思いをしたことも多かった大会です。それだけ全国大会のレベルは高いのです。

そんな中、初出場、颯斗が1回戦突破！すごいです！2回戦は残念ながら負けてしまいましたが、見事です。続いて小学3年生トリオ！光生、結彩、華恵！何と全員が2回戦突破です！光生は3回戦を突破、初のベスト16入りを果たしました。華恵も、2回戦、強豪千葉代表に1-4と先行されるも、見事な逆転勝ちを見せてくれました。結彩も2回戦までは本当に落ち着いた試合運びを見せてくれました。小学5年生トリオ、巧人、咲稀、結乃の仲良し3人組も仲良く初戦突破！巧人は初戦、千葉代表に圧勝！素晴らしい試合運びですがの一言です。波にのっていきたい2回戦、惜しくも敗退となりました。咲稀は落ち着いた試合をし、見事2回戦まで勝ち進みました。初出場結乃も、気合の試合で、見事2回戦突破を果たしました。咲稀、結乃も惜しくも3回戦敗退となりましたが、全少で2回戦突破はすごい成績です。今回、古賀道場の選手たちの7名が初戦を突破、5名が2回戦突破という頑張りを見せてくれました。残念ながら初戦敗退とはなったものの、将理、安那ともに緊張の中、練習通りの素晴らしい形を演武してくれました。また、初出場の光璃、優月も自分に負けない素晴らしい試合を見せてくれました。全てが次に繋がる成果を確認できた結果でした。これからの飛躍が楽しみです。

今回、会場から、そして佐賀から本当に熱い応援ありがとうございました。また、頑張ります！

